

第10回 11月3日～23日

刀剣展

堀井一門展

仙台陣屋
かわら版

第147号
(令和3年11月号)

発行：仙台藩白老元陣屋資料館
〒059-0912 白老町陣屋町 681
TEL&FAX 0144-85-2666

資料館の人気の特別展「第10回刀剣展」が、11月3日(水・祝)から、23日(火・祝)まで開催されます。

今年、「堀井一門展」と題し、伝統と技巧を受け継いだ堀井一門が作った刀を展示します。

平安時代末期から鎌倉時代にかけて、武士の勢力が伸びるとともに各地に刀鍛冶ができました。戦国時代を経て江戸時代になると刀の需要は減り、1876(明治9)年の廃刀令公布とともに刀鍛冶の技術は衰退しました。

初代堀井胤吉は、1821年に近江国(現在の滋賀県)に生まれ、幕末の名工大慶直胤と月山貞吉に師事し、刀鍛冶となりました。明治の廃刀令後も寺院の宝刀等を作りつづけ、1895年に宮内庁刀工を拝命することになりました。

堀井一門系譜

初代	堀井胤吉 (1821~1903 没)
2代	堀井胤明 (1851~1923 没)
3代 (瑞泉鍛刀所 初代当主)	堀井俊秀 (1886~1943 没)
4代 (瑞泉鍛刀所 2代)	堀井信秀 (1920~2001 没)
分家初代 (瑞泉鍛刀所 3代)	堀井胤次 (1923~2002 没)
(瑞泉鍛刀所 4代)	堀井胤匡 (1954~)
(瑞泉鍛刀所 5代)	佐々木胤成 (1972~)

1918(大正7)年、日本製鋼所が日本刀の伝統保存のため瑞泉鍛刀所を開設し、刀匠として堀井俊秀が招聘されました。
第二次世界大戦後、日本刀製作が禁止されましたが、堀井家の大きな尽力もあり、作刀技術は大切に受け継がれ、今日に至るまで伝統的美術品である日本刀を数多く生み出しています。
「堀井一門」の刀剣類36振、他関連資料を展示します。ぜひご覧ください。(※白老町民は無料)

なぜ？坂本龍馬??

今回の刀剣展では、幕末の有名人「坂本龍馬」についての講座を開催します。なぜ、北海道で「龍馬」なのでしょう？この刀剣展と関係はあるのでしょうか？詳しく知りたい方は、ぜひ講座を聞きにきてください。

日時 11月13日(土) 10時~12時

会場 白老コミセン 201号室

題名 「坂本龍馬と刀剣~堀井俊秀と龍馬・佩刀吉行の邂逅」

講師 北海道龍馬会事務局長 小宮山一夫

定員 30名(要申込)

※同日、午後から「日本刀よろず相談会」があります。(要申込)

刀剣展関連事業 11月3日(水/祝)

- ①「展示解説会」10時~10時30分 堀井胤匡氏
 - ②「居合実演会」10時30分~11時 堀井胤匡氏
 - ③「刀談義」11時~12時 堀井胤匡氏、鳥羽達一郎氏(元文化庁刀剣登録審査員)、小宮山一夫氏(北海道龍馬会事務局長)、吉田正幸氏(札幌刀談義事務局長)
 - ④「日本刀よろず相談会」13時30分~16時 鳥羽達一郎氏(元文化庁刀剣登録審査員)
 - ⑤「たたら製鉄実演会」8時~16時(15時鋳出し) 石崎氏(室蘭登別たたら会の会長)
- 定員 各20名(要申込) ※⑤は除く

これだけは、覚えておきたい！！

史跡白老仙台藩陣屋跡のコト

- ★造られたのは今から 165 年前の江戸時代の幕末！
(安政3年 1856年) ※白老の本格的な開拓の年
- ★ロシアなど外国から蝦夷地を守るために仙台藩が白老に造った。
- ★国から指定を受けた「史跡」だよ。(昭和41年)
- ★土塁(どろい)や掘割(ほりわり)がちゃんと残っているのがスゴイ！
- ★北海道最大級の広さ！
曲輪の広さは札幌ドーム以上！(約 66,000 m²)
- ★1本だけ残っている「赤松」は、当時の仙台藩士が植えたものだよ！

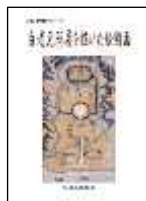
春はサクラの名所だよ。
夏はホテルもいるよ。
秋は栗も落ちているよ。
早朝、夕方には
鹿がたくさんいるよ。



みよしけんもつきよふさ
三好監物清房

- 41歳の時に蝦夷地(北海道)に来て、白老に陣屋をつくることを提案した人だよ。(安政2年)
- 陣屋の2代目御備頭(おそなえがしら)。(陣屋の隊長)
- 武士だけど、絵を描いたり、和歌を詠んだりもしたよ。
- 樽前山で鉄砲でヒグマを撃ったりと色々な話が残っているよ。
- 仙台藩の人と意見があわず、最後は黄海村(岩手県)で自決。
- 明治時代の偉人伝などの本にも掲載されているよ。
- 町内の小中学校で耳鼻科検診をやっていた三好彰先生は、三好監物の子孫ですよ。(残念ながら、令和3年で終了)

もう少し詳しく知りたいけど、難しい話はわからないという人には、
「ふるさと再発見シリーズ」がオススメ！！町ホームページに掲載中！
シリーズ2「白老人物伝1」(在庫切れ)
シリーズ5「白老元陣屋を描いた絵図面」(資料館で配布中)



「仙台陣屋かわら版 145号 (令和3年 11月号)」

発行日:令和3年 10月 20日 (水)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:合田

TEL 85-2666

Mail: jinya@town.shiraoi.hokkaido.jp

教育委員会では、令和3年3月に『史跡白老仙台藩陣屋跡 保存活用計画』を策定しました。そこで、改めて「陣屋跡」と「三好監物」についてお伝えしたいと思います。
さらに詳しく知りたい方は、ぜひ資料館にお越しください。
『保存活用計画』は、町ホームページでもご覧いただけます。

◆危険！◆

「土塁」には
のぼらないで！
「掘割」には
近づかないで！



※本人自画像

新発見！！

この度、岩手県奥州市で、陣屋の新しい絵図が見つかりました！

『保存活用計画』策定に参画した佐藤宏一氏が新しい絵図からわかった陣屋のことについてお話しします。

日時 11月27日(土)

10時~12時

会場 陣屋資料館

題名 「白老元陣屋絵図の謎を解く」

講師 仙台市郷土史家・佐藤宏一氏

定員 20名(要申込)